



DEEBOT **50S** OMNI
取扱説明書/Instruction Manual

取扱説明書..... JA | P03

Instruction Manual EN | P30

安全に関するご注意

安全に関するご注意

電気製品を使用する際は、以下を含む基本的な取扱注意事項に必ず従ってください。

本製品のご使用前に、すべての指示をお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください

1. 本製品は、身体能力、感覚能力、または知力に障がいをお持ちの方、経験や知識の少ない方（お子様を含む）の使用を想定していません。ただし、上記の使用者の安全について責任を負う方により、本製品の使用方法に関する指導または説明を受けている場合には、お使いいただけます。
2. お子様の本製品で遊ばせないでください。
3. 清掃する場所を片付けてください。本製品に絡まる可能性のある電源コードや小さな物体は床から取り除いてください。カーペットなどの敷物の房飾りは、敷物の下に折り込み、カーテンやテーブルクロスなどは床につかないようにしてください。フロアに硬い物や小さな粒状の玩具などがある場合は取り除いてください。
4. 落下防止センサーが搭載されていますが、怪

我や家具と本体の破損を防ぐため、高いところでご使用される際は、落下防止柵等を設置してください（センサーライトが床の表面に反射する場合や、床の色が濃い場合、また床自体が汚れている場合はうまく動作しないことがあります）。

5. 本書の指示に従って使用してください。製造元が推奨または販売するアタッチメントのみを使用してください。
6. 家庭内でのみ使用してください。本製品を屋外、業務用または産業用途で使用しないでください。
7. ダストボックスやフィルターを取り付けずに使用しないでください。
8. 火気や壊れやすい物のある場所で本製品を使用しないでください。
9. 髪、絡まりやすい衣服、指、その他身体の一部を開口部や動いている部分に近づけないでください。
10. 極端な高温または低温の環境（-5°C未満または40°C超）で使用したり保管したりしないでください。ロボットは0～40°Cの環境で充電してください。
11. 子供が眠っている部屋で本製品を使用しないでください。

12. 濡れた床や水がたまっている床で本製品を使用しないでください。
13. 本製品に石や大きな紙片など、詰まる恐れのあるものを吸引させないでください。
14. ガソリン、プリンターやコピー機のトナーなど、引火性または可燃性の物質を本製品に吸わせないでください。またそのようなものがある場所で使用しないでください。
15. タバコ、マッチ、熱い灰など、発火の原因となる可能性のあるものを本製品に吸わせないでください。
16. 吸入口に異物を入れないでください。吸入口が塞がれている場合は、使用しないでください。吸入口にゴミ、糸くず、髪、その他空気の流れを悪くする可能性のある物体がたまらないようにしてください。
17. 電源コードが損傷している場合は、危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による交換が必要になります。
18. 本製品の清掃やメンテナンス作業を行う前に、電源スイッチをオフにしてください。
19. CH2453M に適したリチウムバッテリータイプは、最大 8 セル、最大公称電圧 DC 14.4V、定格容量 4,800mAh です。本製品を廃棄する前に、バッテリーを取り外して、ご使用の地域の法規制に従って廃棄する必要があります。
20. 内蔵リチウムイオンバッテリーを含めた弊社製品の廃棄について、処分方法はお住いの自治体によって異なりますので、お住いの自治体の処分方法に従い廃棄してください。処分方法についてご存じない場合は、はお住いの自治体にご確認ください。ご自身での処分が難しい場合は、送料お客様ご負担にて弊社で無償にてご対応させていただきますので、コールセンターにお問い合わせください。その際は、部品などのご返却はしておりませんので、ご注意ください。
21. 損傷が激しい場合でも、本製品は焼却しないでください。焼却するとバッテリーが爆発する可能性があります。
22. 本製品は、本取扱説明書の指示に従ってご使用ください。Ecovacs Home Service Robotics は、不適切な使用による損害や負傷については一切の責任を負いかねます。
23. ロボットのバッテリーは専門技術者による交換が必要となります。ロボットのバッテリーの交換については、サポートセンターまでお問い合わせください。
24. ご使用環境の電源電圧が、OMNI ステーション

に記載されている電圧と一致していることをご確認ください。

25. 本製品に付属する製造元純正の充電バッテリーおよび OMNI ステーションのみを使用してください。充電式ではないバッテリーは使用できません。
26. 電源コードを傷つけないでください。電源コードを引っ張って本製品や OMNI ステーションを動かしたり、電源コードを持ち手にして運んだりしないでください。また電源コードを挟んだまま部屋の扉を締めたり、鋭利な端や角に電源コードを引っかけたりしないでください。電源コードの上で本製品を動作させないでください。電源コードは、高温の表面から離れた場所に置いてください。
27. OMNI ステーションや電源コード、コンセントに損傷や欠陥がある場合は使用しないでください。電源コードに損傷や欠陥がある場合は使用を止め、速やかにサポートセンターまでご連絡ください。ご自身での修理や使用を継続しないでください。
28. 電源コードやコンセントに損傷がある場合は使用しないでください。本製品または OMNI ステーションが正常に動作しない場合、落下、損傷、屋外放置、水濡れなどがあつた場合は

使用しないでください。危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による修理が必要となります。

29. OMNI ステーションの清掃やメンテナンス作業前には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
30. 本製品を処分する場合は、電源をオフにしてからロボット本体を OMNI ステーションから取り外し、最後にバッテリーを取り外してください、本製品を OMNI ステーションから取り外し、本製品の電源スイッチをオフにしてください。
31. OMNI ステーションを長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
32. ロボットを長期間使用しない場合は、ロボットの電源をオフにして保管し、OMNI ステーションの電源プラグを抜いてください。
33. **【警告】** 清水タンクには水道水またはきれいな水のみを入れてください。
34. **【警告】** 本製品に付属している取り外し可能電源アダプター CH2453M を必ず使用してください。
35. 故障や異常が発生した場合は、使用を中止しコールセンターにご連絡ください。



高周波（RF）曝露に関する要件を満たすために、本デバイスの動作中は、本機器と人の間を 20 cm 以上離してくださいにする必要があります。

要件を満たすため、この距離より近づけることは推奨しません。この送信器に使用するアンテナは、他のアンテナや送信器と同じ場所に設置しないでください。

デバイスの更新

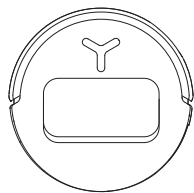
通常、一部のデバイスは 2 ヶ月ごとにアップデートされますが、時期ははっきりと決まっていません。一部のデバイス、特に発売から 3 年以上経過したデバイスは、重大な脆弱性が見つかって修正された場合にのみ更新されます。

- 熱湯による火傷に注意してください。OMNI ステーションの排水口に触れたり、ステーションでモップを洗浄している間に DEEBOT を取り外したりしないでください。
- DEEBOT および OMNI ステーションを液体で洗わないでください。

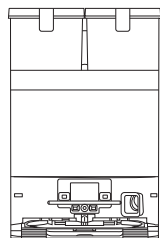
	注意：表面が熱くなります
	短絡防止の安全絶縁変圧器
	スイッチモード電源
	屋内使用専用
	直流
	交流
	充電する前に、取扱説明書をお読みください。
	充電ポートの極性
	遅延ミニチュアヒューズリンク

パッケージ内容

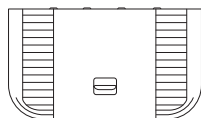
① 同梱品



DEEBOT



OMNI ステーション (ダ
ストバッグ装着済)



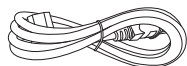
ベース



サイドブラシ



取扱説明書

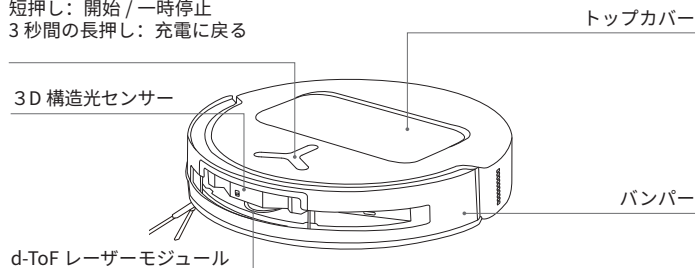


電源コード x 2

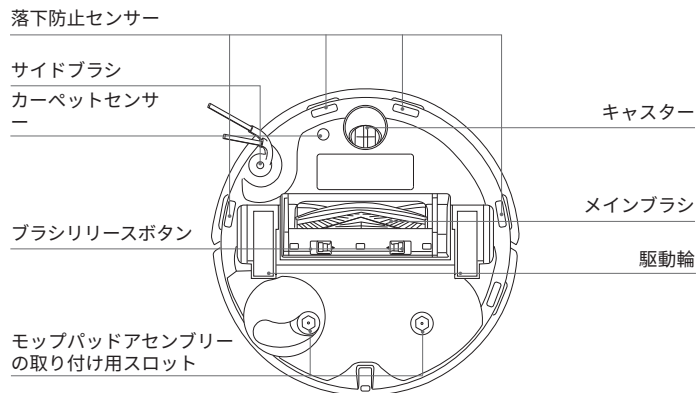
② 各部品

1. DEEBOT 正面図

DEEBOT のボタン
短押し: 開始 / 一時停止
3 秒間の長押し: 充電に戻る



2. DEEBOT 底面図



3. DEEBOT 内部 (カバー下)

リセットボタン

ネットワーク設定: リセットボタンを1回押すと、音声ガイダンスがネットワーク設定手順を案内します。

工場出荷時設定へのリセット: リセットボタンを5秒間長押ししてください。音声プロンプトに続いて起動音が流れ、DEEBOTは工場出荷時設定に復元されます。注意してご使用ください。

ネットワーク状態表示 /
リセットボタン

電源スイッチ
「I」 = オン
「O」 = オフ

充電端子

給水ポ
ート

エッジセンサー

4. モップパッドアセンブリ

モップホルダー

洗えるモップパッド

5. ダストボックス

ダスト排出口

フィルター

フィルターネット

ダストボックススラッチ

6. OMNIステーション正面図

汚水タンク

清水タンク

集塵ボックス

OMNIステーション
の充電端子

モップ洗浄トレイ

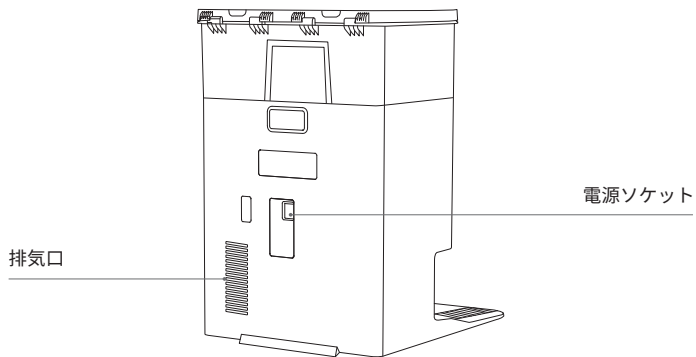
注:

• DEEBOTが充電できない場合は、充電端子をきれいな乾いた布クロスで拭いてください。

7. ダストバッグ

ダストバッグのハンドル

8. OMNI ステーション背面図



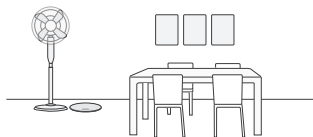
9. センサー概要

部品	機能の説明
d-ToF レーザー レーザー	DEEBOT が一つ多い T はレーザーを使用し、発射されたレーザー光が反射してセンサーに戻るのに要した飛行時間を測定することで、周囲の物体までの距離を計算します。DEEBOT は特定の環境内を移動しながら、周囲の障害物の位置を特定し、動作する空間環境のマップを構築します。検出距離は 10m です。
3D 構造	センサーは赤外線を発射し、その経路上の障害物から反射して戻る光を受信します。受信後、相似三角形を用いて障害物までの距離を計算します。センサーが障害物を近くに検出すると、DEEBOT は自動的に方向転換して障害物を回避します。検出距離は 0.4m です。

落下防止 センサー	DEEBOT の底面に取り付けられた赤外線センサーは、ロボットのベースと地面との距離を監視します。前方に下向きの段差（例：白色の表面では >55 mm、黒色の表面では >30 mm 以上）が検出されて、センサーの読み取り値が基準値を超える場合、DEEBOT は前進を停止し、落下防止機能を有効にします。
カーペットセン サー	センサーは超音波プローブを介して 300kHz の超音波を發します。カーペットは超音波エネルギーを吸収するため、反響エネルギーが基準値を下回ると、DEEBOT はカーペットを検出します。ECOVACS のラボテストに基づくと、このシステムは 50 種類以上の市販カーペットを識別可能です。
衝突防止 センサー	DEEBOT はフォトカプラスイッチの原理を使用することで、衝突前に障害物を回避します。
エッジセンサー	DEEBOT は直線レーザーを使用することで、DEEBOT とその側方に存在する物体との間の距離を検出します。右側に壁や障害物がある場合、DEEBOT はエッジ追従動作を行い、掃き残しを防ぎ衝突を回避します。

使用

① 清掃前の注意事項

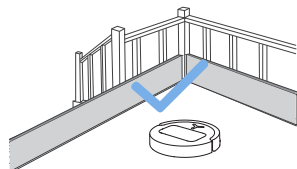


清掃する場所を片付ける

清掃面積を最大にするため、DEEBOTを使用する前に、テーブル、椅子、置き型扇風機などの家具を適切な場所に置き、体重計などの平たいものを片付けてください。



清掃効率を上げるため、ケーブル、衣類、スリッパなど、床の上の物を片付けてください。



DEEBOTの落下を防ぐ

階段や段差などの高低差がある場所には物理的な障壁を設置し、DEEBOTが落下しないようにしてください。



カーペットなどの敷物の房飾りやフリンジ部分は、巻き込む恐れがあるため下側に織り込んでください

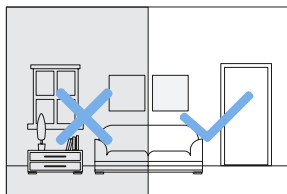


部屋の扉を開けてDEEBOTの探索を助ける

初めて使用する際は、DEEBOTが家全体を完全に巡回してマップを作成できるように、すべての部屋の扉を開けてください。



DEEBOTの正面や敷居の上に立ったり、狭い通路に立ったりしないでください。ロボットが清掃対象エリアを認識できなくなる可能性があります。



十分な明るさを確保する

DEEBOTのセンサーが靴、靴下、コードなどの障害物を正確に回避できるように、すべての清掃領域に十分な明るさがあることを確認してください。



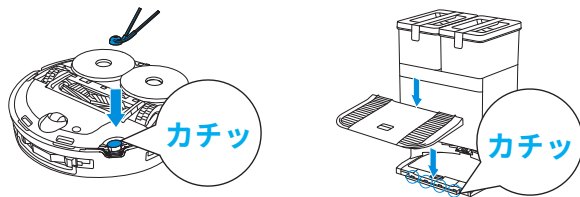
DEEBOTのクリアに保つため、指紋や油汚れでセンサーの表面傷をつけたり汚したりしないでください。カメラを拭くときは、洗剤、や、スプレーではなく、清潔な柔らかい布クロスを使用してください。

② クイックスタート

本製品を使用する前に、保護材をすべて取り外してください。

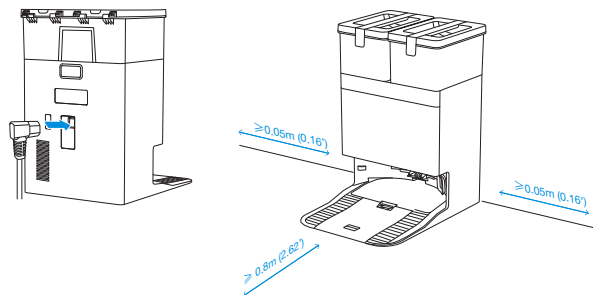
1. DEEBOTおよびOMNIステーションの設置

「カチッ」という音が鳴るまでしっかり取り付けてください。



2. 電源に接続し、ステーションを置く

OMNIステーションを平坦で硬い床の上に置き、壁に寄せて設置してください。左右0.05m以内、および前方0.8mの範囲には障害物を置かないでください

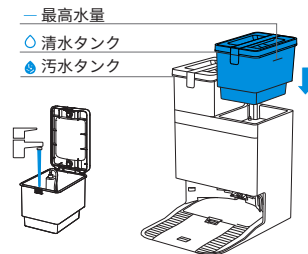


注:

- ・鏡などの光を反射するものがOMNIステーションの近くにある場合、DEEBOTのセンサーが反応しないよう床面から14cm程度を覆う必要があります。
- ・OMNIステーションを直射日光の当たる場所に置かないでください。
- ・動作を向上させるため、Wi-Fi信号が強い場所に設置することをおすすめします。
- ・設置する床材の取扱説明書、注意事項をよく確認する。
(ゴムの接触による変色に注意喚起されている床材の場合は、本製品の設置により変色する恐れがある。)
- ・設置場所によってはクッションラバーの跡が残る場合がありますのでご注意ください。

③ 清水タンクに水を入れる

清水タンクを取り出し、水タンクカバーを開け、最大水量のラインまでタンクに水を入れます。補充後、水タンクカバーをしっかりと閉め、清水タンクをステーションに取り付け直します。



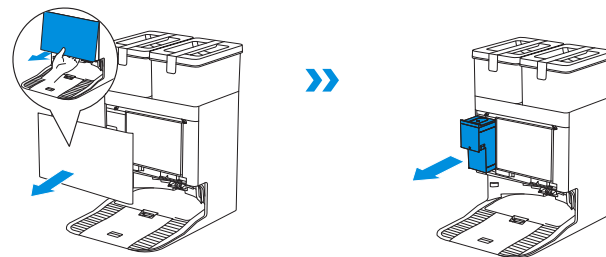
注:

- ・タンクを設置する前に、清潔な乾いた布クロスでタンク表面の水分を拭き取ってください。
- ・使用前に、清水タンクと汚水タンクの蓋が確実にロックされていることを確認し、正常な動作に影響を与えないようにしてください。
- ・水タンクに水跡がある場合がありますが、工場出荷時の機能テストによるものです。性能への影響はありません。

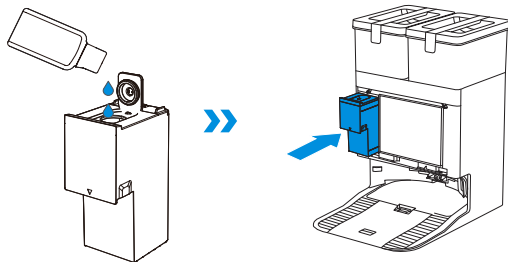
④ クリーニング液自動追加

自動補充機能付きステーション（一部モデル）では、溶液を以下の手順で補充してください。

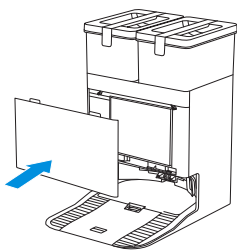
1. 集塵カバーを外し、クリーニング液タンク下部のタブに指を差し込み、容器を引き出して平らな硬い場所に置きます。



2. クリーニング液タンクの蓋を開き、ECOVACS DEEBOT専用洗浄剤を加えます。クリーニング液タンクの蓋を閉め、ステーションに取り付けます。



3. 集塵ボックスのカバーを戻し、カバーをしっかりと押して固定します。

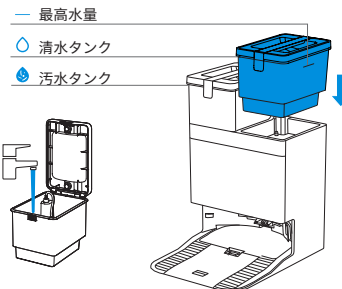


注:

- 製品を長持ちさせるため、ECOVACS DEEBOT 専用洗浄剤のみをご使用ください。
- クリーニング液タンクに異物が入り込まないようにしてください。

自動補充機能のないステーションについては、以下の手順で溶液を補充してください。

清水タンクを最大水量ラインまで満たし、ボトルキャップを使用して1:200の希釈比率で適量のクリーニング液を加えてください。水タンクカバーを閉め、使用前に軽く振って混ぜてください。



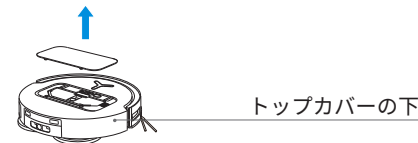
注:

- タンクを設置する前に、清潔な乾いたクロスでタンク表面の水分を拭き取ってください。
- 使用前に、清水タンクと汚水タンクの蓋が確実にロックされていることを確認し、正常な動作に影響を与えないようにしてください。
- 水タンクに水跡がある場合がありますが、機能テストによるものです。性能への影響はありません。
- 製品を長持ちさせるため、ECOVACS DEEBOT 専用クリーニング液のみをご使用ください。

5 ECOVACS HOME アプリのダウンロード

ECOVACS HOME アプリをダウンロードして、DEEBOT のさらなる機能を探索してください。

オプション1: トップカバーの下の QR コードをスキャンし、アプリをダウンロードします。



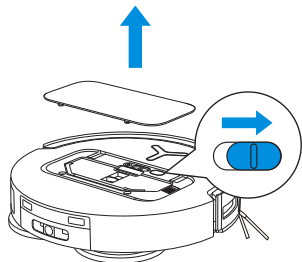
オプション2: App Store または Google Play で「ECOVACS HOME」を検索し、アプリをダウンロードします。



注: インストール後、モバイルアプリの画面上の指示に従って登録、ログイン、ネットワーク設定を完了してください。

6 DEEBOT の電源オン

DEEBOTのカバーの下にある電源スイッチ（「I」=オン、「O」=オフ）をオンにして、DEEBOTを電源に接続されたステーションの前に置きます。



7 DEEBOT とアプリの接続

Wi-Fi ネットワークの要件:

- 2.4 GHz または 2.4/5 GHz 混合ネットワークを使用していること。
- ルーターが 802.11b/g/n および IPv4 プロトコルに対応していること。
- VPN（バーチャルプライベートネットワーク）やプロキシサーバーを使用しないでください。
- 非公開ネットワークを使用しないでください。
- WPA および WPA2 で TKIP、PSK、AES/CCMP 暗号化に対応しています。
- WEP EAP（エンタープライズ認証プロトコル）には対応していません。
- 北米では Wi-Fi チャンネルに 1～11、北米以外ではチャンネルに 1～13 を使用してください（地域の規制機関を参照のこと）。
- ネットワーク中継機 / リピーターを使用している場合、ネットワーク名（SSID）とパスワードはプライマリーネットワークと同じです。
- ルーターで WPA2 を有効にしてください。

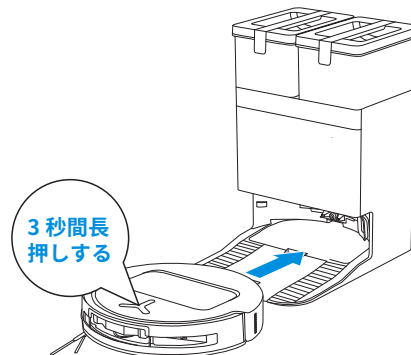
Wi-Fi表示灯

	白色でゆっくり点滅	Wi-Fi が切断されました
	白色で素早く点滅	接続中
	白色で点灯	Wi-Fi 接続済み

遠隔起動、音声操作、2D/3Dマップの表示と制御設定、パーソナライズされた清掃（製品によって異なります）などのインテリジェント機能には、ECOVACS HOMEアプリが必要です。お客様がECOVACS HOMEアプリの特定の機能を使用しDEEBOTを操作できるようにするには、当社のプライバシーポリシーおよび利用規約に同意する必要があります。当社のプライバシーポリシーおよび利用規約に同意いただけない場合は、上記の機能をご利用いただけません。ただし。

8 DEEBOT の充電

ECOVACS HOMEアプリでDEEBOTを呼び出すか、DEEBOTの ボタンを3秒間長押しすると、DEEBOTが充電のためにOMNIステーションに戻ります。



注:

- DEEBOT は電源がオフになっていると充電できません。
- 清掃後、DEEBOT が次の清掃に備えるために、電源をオンにしたまま充電しておくことをおすすめします
- 清掃後に DEEBOT がスムーズに充電ステーションへ戻れるようにするため、DEEBOT を OMNI ステーションから開始させ、清掃中は OMNI ステーションを移動させないことをおすすめします。

9 清掃を開始する

1. マッピングの開始


初めてマップを作成するときは、DEEBOT に付き添い、いくつかの小さな問題を解決してください。

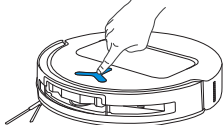
例えば、DEEBOT は家具の下に入って動けなくなることがあります。次の解決策を参考にしてください。

- ① 低い家具の下に DEEBOT が入り込まないように、必要に応じて家具を高くしてください。
- ② 家具の下に入り込まないように、物理的な障壁を設置してください。
- ③ アプリで仮想壁を設定します。

2. 清掃を開始する

• 掃き掃除や水拭き清掃中は、DEEBOT が床の種類を判断し、カーペットを認識すると自動的にモップパッドを上昇させます。モップパッドやモップホルダーを手動で取り外す必要はありません。長毛カーペットや、繊維の長さが 10 mm を超えるカーペットの上で DEEBOT を使用しないでください。清掃中は、長毛カーペットや繊維の長さが 10 mm を超えるカーペットをたたむか、ECOVACS HOME アプリで仮想境界線を設定してその領域を立ち入り禁止ゾーンに設定することをお勧めします。


初めて清掃を行う前に、DEEBOT がステーション内にあり、フル充電されていることを確認してください。DEEBOT の  を押して起動します。ECOVACS HOME アプリを使って起動することもできます。




注:

- 洗えるモップパッドを長持ちさせるため、頻繁に取り外さないでください。
- モップホルダーを布やその他の物で擦らないでください。
- ECOVACS HOME アプリから交換の通知があった場合は、お早めにモップパッドを交換してください。その他のアクセサリーについては、ECOVACS HOME アプリまたは <https://mall.ecovacs.com> をご覧ください。


3. 一時停止

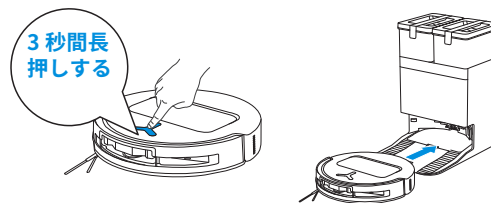
動作中に DEEBOT の  を押すと一時停止します。ECOVACS HOME アプリを使って DEEBOT を一時停止することもできます。

4. 再起動

しばらく停止すると、DEEBOT のすべてのインジケータライトが消灯します。DEEBOT を再起動するには、 を押してください。

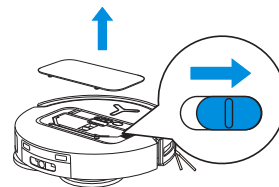
5. ステーションに戻る

ECOVACS HOME アプリで DEEBOT を呼び出すか、DEEBOT の  ボタンを 3 秒間長押しすると、DEEBOT が充電のためにステーションに戻ります。



6. スリープモード

DEEBOT は、約 10 時間ステーションの外に留まると、バッテリーを保護するためにスリープモードに入ります。DEEBOT を起動するには、電源を一度オフにしてからオンにしてください。



定期的なメンテナンス

① メンテナンス頻度

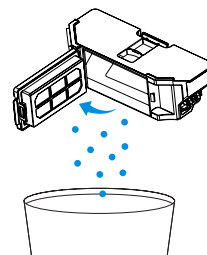
DEEBOT の性能を最適に保つため、次の頻度でメンテナンス作業や部品の交換を実行してください。

部品	メンテナンス頻度	交換頻度
洗えるモップパッド	/	1～2 カ月ごと
ダストバッグ	/	アプリから通知されたとき
サイドブラシ	2 週ごと	3～6 カ月ごと
メインブラシ	毎週	6～12 カ月ごと
フィルター	毎週	3～6 カ月ごと
3D 構造光センサー キャスター 落下防止センサー バンパー DEEBOT の充電端子 OMNI ステーションの充電端子 d-ToF LiDAR モジュール	毎月	/
清水タンク	3 カ月ごと	/
汚水タンク	毎月	/
集塵ボックス	毎月	/
ステーション本体と底部	毎月	/

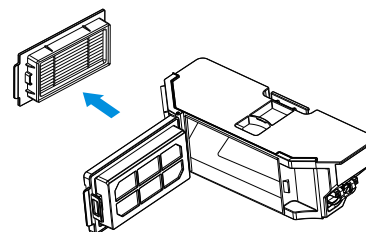
注: その他のアクセサリーについては、ECOVACS HOME アプリまたは <https://mall.ecovacs.com> でお試しください。

② ダストボックス

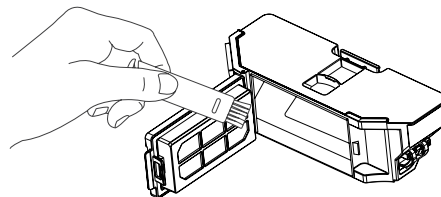
1. ダストボックスカバーを開けて、ダストボックスのゴミを排出します。



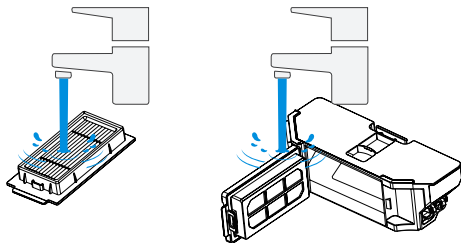
2. フィルターネットを開いて、フィルターを取り外します。



3. フィルターネットの両面のほごりを取り除きます。



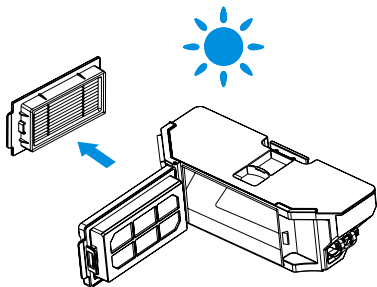
4. ダストボックスとフィルターを水ですすぎ、水滴を振り落とします。



注:

- 図のようにして、清水ですすぎます。
- フィルターエレメントは手でブラシをかけたり、擦ったりしないでください。

5. 自然乾燥

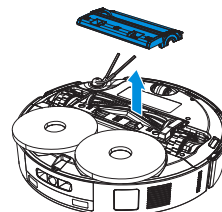


注: ご使用前にフィルターエレメントが完全に乾燥していることを必ず確認してください。

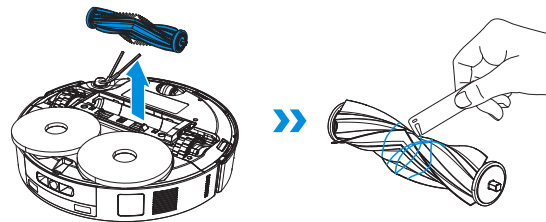
ECOVACS DEEBOTのフィルター交換用部品およびクリーニングツールは、ECOVACS HOMEアプリまたは<https://mall.ecovacs.com>での購入をおすすめします。

③メインブラシとサイドブラシ メインブラシの清掃

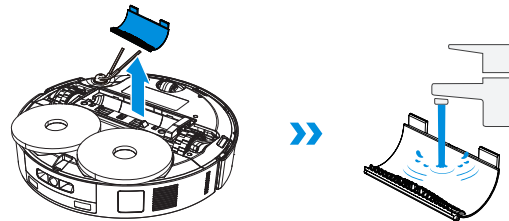
1. メインブラシカバーを開きます。



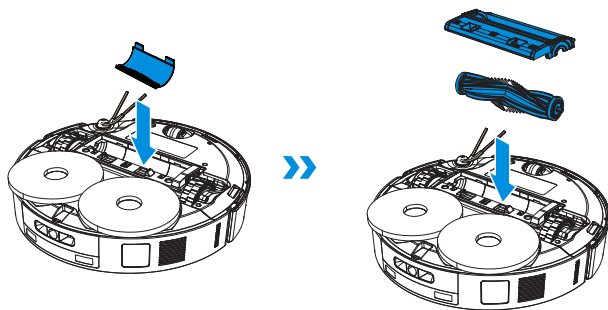
2. メインブラシを取り出して清掃します。



3. 櫛歯を取り出して清掃します。

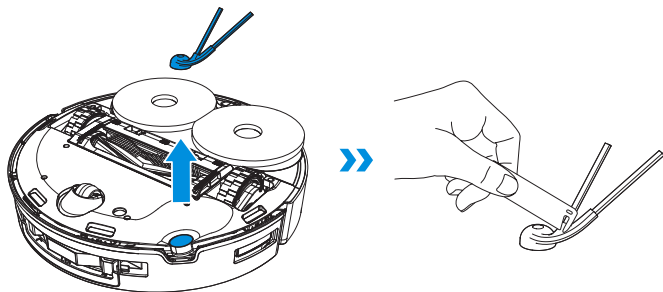


4. 櫛歯、メインブラシ、メインブラシカバーを取り付ける



サイドブラシの清掃

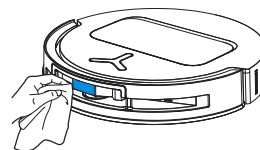
1. を取り外して清掃します。



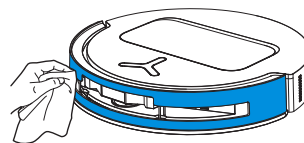
注: その他のアクセサリーについては、ECOVACS HOME アプリまたは <https://mall.ecovacs.com> でお探してください。

④ その他の構成用品

センサーレンズの清掃

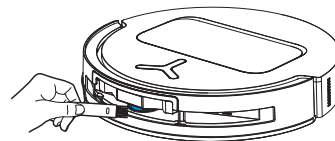


バンパーの清掃



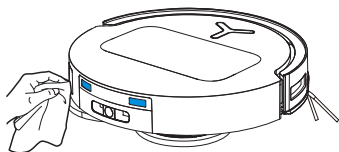
注: センサーレンズとバンパーの清掃には乾いた布クロスをご使用ください。水による損傷を防ぐため、濡れた布クロスは使用しないでください。

d-ToF LiDAR モジュールの清掃



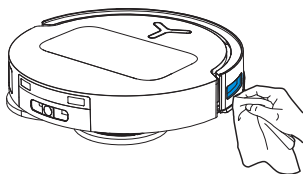
注: LiDAR モジュールを清掃する際は、レーダーガラスレンズを前面に向け、小さなブラシで優しく拭いてください。

充電端子の清掃

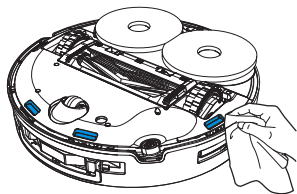


注: 充電端子には精密な電子部品が含まれています。清掃時は乾いた布クロスをご使用ください。水分の侵入による損傷を防ぐため、濡れた布クロスは使用しないでください。

サイドセンサーの清掃

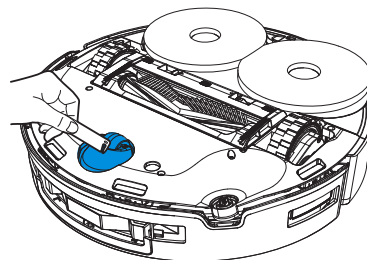


落下防止センサーの清掃

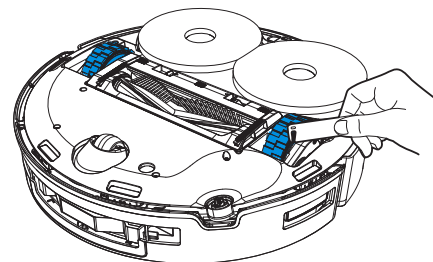


注: センサーレンズとバンパーの清掃には乾いた布クロスをご使用ください。水による損傷を防ぐため、濡れた布クロスは使用しないでください。

キャスターの清掃

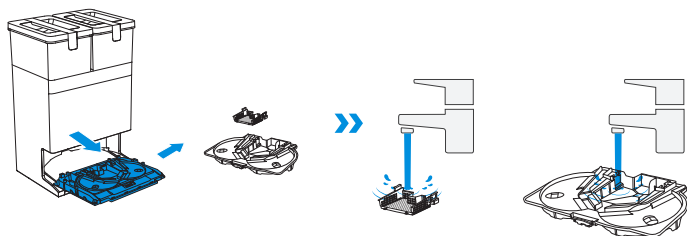
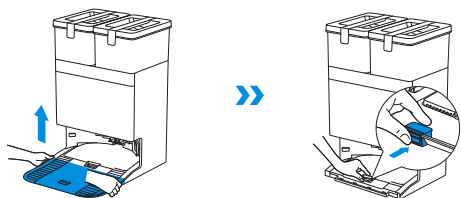


駆動輪の清掃

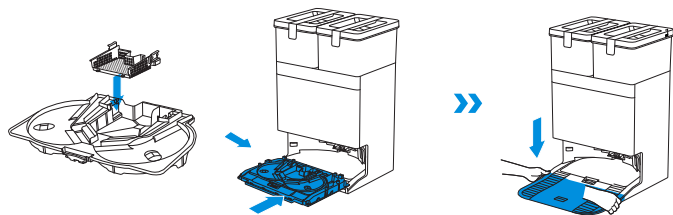


⑤ モップ洗浄トレイ

1. モップ洗浄トレイとステーションスロープベースを取り外して清掃します。



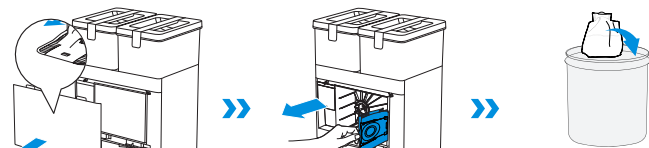
2. モップ洗浄トレイとステーションスロープベースを取り付けます。



注: 正常な動作の妨げにならないように、必ず正しく取り付けてください。

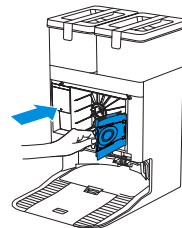
⑥ ダストバッグ

1. ダストバッグを捨てる

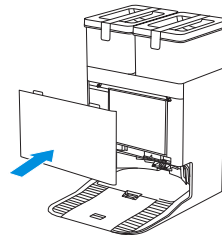


ダストバッグを取り外すと、バッグのハンドルが密閉し、ゴミの漏れ出しを効果的に防ぎます。

2. 集塵ボックスを乾いた布クロスで拭いてから、新しいダストバッグを取り付けます。

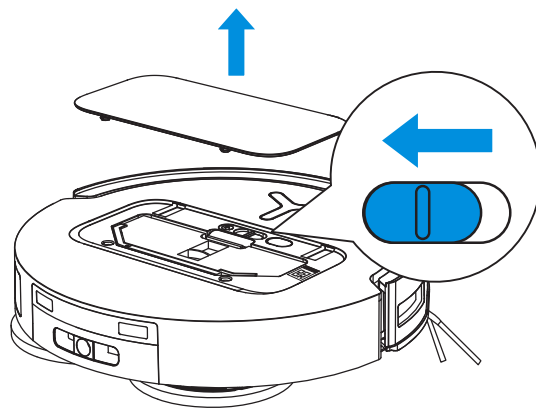


3. 集塵ボックスのカバーを戻し、カバーをしっかりと押して固定します。



7 電源を切って保管する

DEEBOT を長期間使用しない場合は、保管前にフル充電してから電源を切ってください。バッテリーの過放電を防ぐため、1.5 か月ごとに再充電してください。



! DEEBOT は電源をオフにすると充電できませんのでご注意ください。

- 清掃後、DEEBOTが次の清掃に備えるために、電源をオンにしたまま充電しておくことをおすすめします
- バッテリーが過放電になったり、長期間使用されなかった場合、DEEBOTが充電できなくなることがあります。この場合は、自分で分解せずカスタマーサポートまでお問い合わせください。
- 製品を長期間使用しない場合は、水タンクを空にし、ローラーモップを乾いた状態に保ってください。

故障かな？と思ったら

製品の使用中に以下のような状況が発生した場合は、表内の解決方法を試してみてください。

No.	異常	考えられる原因	対処方法
1	DEEBOT が ECOVACS HOME アプリに接続できない。	入力したネットワーク名（SSID）またはパスワードが間違っています。	正しい SSID 名を選択し、パスワードを入力してください。
		DEEBOT がご自宅の Wi-Fi 信号の範囲内にありません。	DEEBOT をできるだけルーターの近くに設置し、ご自宅の Wi-Fi 電波の届く範囲内にあることを確認してください。
		DEEBOT が設定状態になっていません。	リセットボタンを押してネットワーク設定モードに入りください。接続に失敗した場合、ECOVACS HOME アプリの指示に従って再接続してください。
		Wi-Fi リストにご自宅の Wi-Fi がありません。	1. Wi-Fi 名に特殊文字 (!@#&%/\) が含まれていないか確認してください。 2. ※ 5 GHz ネットワークには対応していません
		誤ったアプリがインストールされています。	DEEBOT の QR コードをスキャンするか、アプリストアから ECOVACS HOME アプリをダウンロードしてください。
2	マップデータがなくなる。	清掃中に DEEBOT を移動すると、マップが失われることがあります。	DEEBOT をステーションに戻してマップを復元してください。ECOVACS HOME アプリから、保存されたマップをマップ管理で探し、「このマップを使用する」をタップして復元します。それでも問題が解決しない場合は、マッピングを再度開始してください。
3	アプリでホームマップを作成できない。	清掃中に DEEBOT を移動させると、位置情報が乱れ、位置特定に失敗します。	清掃中は DEEBOT を動かさないでください。
		全室掃除が完了しません。	清掃後、DEEBOT が自動的に OMNI ステーションに戻ることを確認してください。
4	サイドブラシが外れます。	サイドブラシが正しく取り付けられていません。	を取り付ける際は、「カチッ」という音がして正しく取り付けられたことを確認してください。

No.	異常	考えられる原因	解決方法
5	信号が見つかりません。 DEEBOT が OMNI ステーションに戻れません。	OMNI ステーションが正しく設置されていません。	[DEEBOT の充電] のセクションに記載されている指示に従い、OMNI ステーションを正しく設置してください。
		OMNI ステーションの電源が切れているか、移動されています。	OMNI ステーションが電源に接続されているか確認してください。OMNI ステーションを移動しないでください。
		DEEBOT が OMNI ステーションから清掃を開始しませんでした。	DEEBOT は OMNI ステーションから清掃を開始することをお勧めします。
		充電に戻るルートが遮られています。例えば、OMNI ステーションが設置されている部屋の扉が閉まっています。	充電に戻るルートを確認してください。
6	DEEBOT が清掃を完了する前にステーションに戻りません。	部屋が広すぎるため、DEEBOT が充電ステーションに戻る必要があります。	中断後再開清掃機能を有効にしてください。詳しくは、アプリの指示に従ってください。
		屋外部屋の間取りが複雑な場合、DEEBOT の清掃効率が低下し、一部のエリアが清掃されない可能性があります。	清掃する場所を片付けてください。
7	DEEBOT が充電できない。	DEEBOT がオンになっていません。	DEEBOT を充電するには、電源スイッチを「I」の位置に切り替える必要があります。
		DEEBOT と OMNI ステーションの充電端子が完全に接触できていません。	DEEBOT が OMNI ステーションの充電端子に正しく接触していることを確認してください。🔌 ボタンの表示ランプが点滅するはずですが、DEEBOT の充電端子と OMNI ステーションが汚れていないか確認し、必要に応じて [定期的なメンテナンス] の手順に従って清掃してください。
		OMNI ステーションが電源に接続されていません。	OMNI ステーションが電気コンセントに接続していることを確認してください。
		ステーションスロープベースが正しく取り付けられていません。	[クイックスタート] セクションに記載されている手順に従って正しく取り付けてください。

No.	異常	考えられる原因	解決方法
8	掃除中に DEEBOT から大きな音がする。	メインブラシ / サイドブラシが絡まっているか、ダストボックス / フィルターが詰まっています。	メインブラシ、サイドブラシ、ダストボックス、フィルターなどを定期的に清掃することをおすすめします。
		DEEBOT が吸引力最大モードになっています。	標準モードに切り替えてください。
9	DEEBOT が作業中に動けなくなって停止します。	DEEBOT が床にあった何か（ケーブル、カーテン、カーペットの縁飾りなど）を誤って吸い込んでいます。	DEEBOT は様々な方法で脱出を試みます。失敗した場合は、手で障害物を取り除いて再起動してください。
		DEEBOT は、家具の下の隙間が本体とほぼ同じ高さの場合、その下で動けなくなる可能性があります。	物理的な障壁を設けるか、ECOVACS HOME アプリで仮想壁を設定してください。
		DEEBOT が狭いエリアで動けなくなっています。	事前に屋内の片付けを済ませ、手作業で狭い入口をブロックするか、ECOVACS HOME アプリで仮想壁を設定することをおすすめします。
10	DEEBOT がランダムな移動ルートを辿り、移動ルートを外れ、同じ場所を繰り返し通過したり、小さなエリアを掃除し損ねたりする。 (DEEBOT が一時的に広い範囲を掃除し損ねた場合は、自動的に戻ってしっかり清掃しますのでご安心ください。場合によっては、DEEBOT が既に掃除済みの部屋に再進入することもあります。これは繰り返し清掃ではなく、単に自動的にスポット補完動作である可能性があります。)	ケーブルやスリッパなど床の上にある物が、DEEBOT の正常な動作に影響を与えます。	清掃前に、床にある電線やスリッパなどの物をできるだけ片付けてください。清掃中に見落としたエリアがある場合、DEEBOT は戻ってしっかりと清掃します。DEEBOT を動かしたり、移動ルートを遮ったりするなど、妨げになることはしないでください。
		DEEBOT が階段や敷居、などの段差に乗り上げたり、駆動輪がスリップし、正確に移動できなくなることがあります。	その部屋の扉を閉めて、個別にすることをおすすめします。清掃後、DEEBOT は開始位置に戻ります。どうぞご安心ください。
		ワックスをかけたり磨いたりしたばかりの床や、滑りやすいタイルの上では、駆動輪が滑りやすくなることがあります。	床用ワックスが乾くのを待ってから清掃してください。
		室内環境によって、清掃できない場所もあります。	DEEBOT が進入して清掃できるように、事前に屋内の片付けをおすすめします。

No.	異常	考えられる原因	解決方法
11	リモコンの反応が遅れます。	DEEBOT の Wi-Fi 信号が弱くなると、動画の読み込みが遅くなります。	Wi-Fi の電波が強い場所で DEEBOT を使用することをおすすめします。
12	DEEBOT が OMNI ステーションに戻ってもダストボックスのゴミを排出しない。	ECOVACS HOME アプリで自動集塵機能がオンになっていません。	ECOVACS HOME アプリで自動集塵機能をオンにしてください。
		OMNI ステーションにダストバッグが取り付けられていません。	ダストバッグを正しく取り付け、集塵ボックスを閉めてください。
		DEEBOT を手動でステーションに戻すと、自動集塵機能が作動しなくなります。	掃除後は、DEEBOT を自動でステーションに戻し、自動集塵と充電をさせることをおすすめします。手動で動かさないでください。
		おやすみモードのとき、DEEBOT はステーションに戻ってもダストボックスからゴミを排出しません。	ECOVACS HOME アプリでおやすみモードをキャンセルするか、手動でゴミを排出してください。
		上記の考えられる原因を除外しても問題がある場合、OMNI ステーションの部品が故障している可能性があります。	ECOVACS お客様相談センターまでご連絡ください。
13	自動集塵に失敗する。	OMNI ステーションが集塵効率の低下を検出しています。	[定期的なメンテナンス] のセクションに従ってダストバッグを交換し、集塵ボックスを閉めてください。ダストバッグが満杯になる前にアプリが警告を表示する場合は、ダストバッグを一度取り外してから取り付け直してください。
		ダスト排出口に異物が詰まっています。	ダストボックスを取り外し、ダスト排出口から異物を取り除いてください。

No.	異常	考えられる原因	解決方法
14	集塵ボックスの内側が汚れている。	微粒子は集塵ボックスの内側でダストバッグを通して収集されます。	集塵ボックスの内側を清掃してください。
		ダストバッグが破れています。	ダストバッグを確認し、必要に応じて交換してください。
15	DEEBOT が動作中にゴミが漏れ出す。	ダスト排出口に異物が詰まっています。	ダストボックスを取り外し、ダスト排出口から異物を取り除いてください。
16	モップホルダーが回転しない。	モップホルダーが正しく取り付けられていません。	モップホルダーを正しく取り付けてください。モップパッドアセンブリーを取り付け用スロットに「カチッ」という音がするまで押し込んでください。
		モップホルダーが異物で詰まっています。	異物を取り除いてください。
17	DEEBOT が OMNI ステーションからのコマンドに応答しない。	DEEBOT がステーション内にありません。	DEEBOT がステーション内にあることを確認してください。
18	駆動輪が動かなくなっている。	駆動輪が異物によって絡まったり、詰まったりしています。	駆動輪を回しながら押し確認し、絡まったり詰まったりしている異物を取り除いてください。それでも問題が解決しない場合は、ECOVACS お客様相談センターまでお問い合わせください。

No.	異常	考えられる原因	解決方法
19	モップ洗浄トレイの水がいっぱいになり、排水できない。モップ洗浄トレイがいっぱいになったことを音声で通知する。	汚水タンクが正しく取り付けられていません。	汚水タンクを押し下げて、正しく取り付けられていることを確認してください。
		汚水タンクの封閉キャップが正しく取り付けられていません。	2つの封閉キャップが正しく取り付けられていることを確認してください。
		OMNIステーションが正常に排水できません。	アプリ内の排水手順に従い、ステーションが正常に積水を排出できるか確認してください。それでも排水に失敗する場合は、汚水タンクとステーションの間に異物がないか確認し、取り除いてください。
		モップ洗浄トレイの吸引口がふさがれています。	モップ洗浄トレイの吸引口に異物がないことを確認してください。
		モップ洗浄トレイの着脱式トレイベースまたはスクレーパープレートが汚れています。	モップ洗浄トレイの着脱式トレイベースとスクレーパープレートを取り外し、清水ですすいでください。
		モップ洗浄トレイのベースに水が流れ込まない場合は、フロートボールが固着して戻らない状態になっていないか確認してください。	モップ洗浄トレイを取り外し、フロートボールを元の位置に戻してください。
		音声アラートが継続する場合。	ステーションの電源をオフにしてから再度オンにしてください。それでも問題が解決しない場合は、ECOVACS お客様相談センターまでお問い合わせください。

それでも問題が解決しない場合は、ECOVACS お客様相談センターまでお問い合わせください。

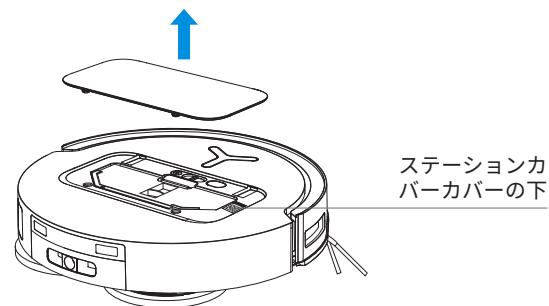
技術仕様

製品モデル	DDX47
定格入力	20V === 2A
充電時間	約 4.0 時間
自動モップ洗浄と自動集塵機能付きステーションモデル	CH2453M
定格入力	100V ~ 50-60Hz
定格出力	20V === 2A
定格入力電流 (充電時)	1A
電流 (ゴミ収集時)	4.5A
電力 (高温水モップ洗浄)	10A
電流 (モップ乾燥時)	1.2A
DEEBOT のサイズ (幅 × 奥行き × 高さ)	352.7*351.6*81mm
ステーションのサイズ (幅 × 奥行き × 高さ)	350*477*533mm (ベースを含む) 350*294*533mm (ベースを含まない)

* 承認コードは製品のネームプレートに表示されています。
* 製品の継続的な改良により、実際の装置はここに記載されている情報と異なる場合があります。
当社は予告なく仕様を変更する権利を留保します。

取扱説明書全文の入手方法

モバイルカメラで QR コードをスキャンして、ユーザーガイドを入手してください。



IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

When using an electrical Appliance, basic precautions should always be followed, including the following:

READ ALL INSTRUCTIONS BEFORE USING THIS APPLIANCE

SAVE THESE INSTRUCTIONS

1. This Appliance is not intended for use by persons (including children) with reduced physical, sensory or mental capabilities, or lack of experience and knowledge, unless they have been given supervision or instruction concerning use of the Appliance by a person responsible for their safety.
2. Children should be supervised to ensure that they do not play with the Appliance.
3. Clear the area to be cleaned. Remove power cords and small objects from the floor that could entangle the Appliance. Tuck rug fringe under the rug base, and lift items such as curtains and tablecloths off the floor.
4. If there is a drop off in the cleaning area due to a step or stairs, you should operate the Appliance

to ensure that it can detect the step without falling over the edge. It may become necessary to place a physical barrier at the edge to keep the unit from falling. Make sure the physical barrier is not a trip hazard.

5. Only use as described in this manual. Only use attachments recommended or sold by the manufacturer.
6. For INDOOR household use ONLY. Do not use the Appliance in outdoor, commercial or industrial environments.
7. Do not use without dust bin and/or filters in place.
8. Do not operate the Appliance in an area where there are lit candles or fragile objects.
9. Keep hair, loose clothing, fingers, and all parts of body away from any openings and moving parts.
10. Do not use and store in extremely hot or cold environments (below -5°C / 23°F or above 40°C / 104°F). Please charge the robot in temperature above 0°C / 32°F and below 40°C / 104°F .
11. Do not operate the Appliance in a room where an infant or child is sleeping.
12. Do not use Appliance on wet surfaces or surfaces with standing water.

13. Do not allow the Appliance to pick up large objects like stones, large pieces of paper or any item that may clog the Appliance.
14. Do not use Appliance to pick up flammable or combustible materials such as gasoline, printer or copier toner, or use in areas where they may be present.
15. Do not use Appliance to pick up anything that is burning or smoking, such as cigarettes, matches, hot ashes, or anything that could cause a fire.
16. Do not put objects into the suction intake. Do not use if the suction intake is blocked. Keep the intake clear of dust, lint, hair, or anything that may reduce air flow.
17. If the power cord is damaged, it must be replaced by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
18. Turn OFF the power switch before cleaning or maintaining the Appliance.
19. The lithium battery type suitable for CH2453M is Max. 8 cells, max. nominal voltage DC 14.4V, rated capacity 4,800mAh. The battery must be removed and discarded according to local laws and regulations before disposal of the Appliance.
20. Please dispose of used batteries according to local laws and regulations.
21. Do not incinerate the Appliance even if it is severely damaged. The batteries can explode in a fire.
22. The Appliance must be used in accordance with the directions in this Instruction Manual. Ecovacs Home Service Robotics cannot be held liable or responsible for any damages or injuries caused by improper use.
23. The robot contains batteries that are only replaceable by skilled persons. To replace the robot's battery, please contact Customer Service.
24. Please make sure your power supply source voltage matches the power voltage marked on the OMNI Station.
25. Use only the original rechargeable battery and OMNI Station provided with the Appliance from the manufacturer. Non-rechargeable batteries are prohibited.
26. Take care not to damage the power cord. Do not pull on or carry the Appliance or OMNI Station by the power cord, use the power cord as a handle, close a door on the power cord, or pull power cord around sharp edges or corners. Do not run Appliance over the power cord. Keep power cord away from hot surfaces.

27. Do not use the OMNI Station if it is damaged.
The power supply is not to be repaired and not to be used any longer if it is damaged or defective.
28. Do not use with a damaged power cord or receptacle. Do not use the Appliance or OMNI Station if it is not working properly, has been dropped, damaged, left outdoors, or come in contact with water. It must be repaired by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
29. The plug must be removed from the receptacle before cleaning or maintaining the OMNI Station.
30. Remove the Appliance from the OMNI Station, and turn OFF the power switch to the Appliance before removing the battery for disposal of the Appliance.
31. When not using the OMNI Station for a long period of time, please unplug it.
32. If the robot will not be used for a long time, power OFF the robot for storage and unplug the OMNI Station.
33. WARNING-Add clean water into the clean tank only.
34. **WARNING:** For the purposes of recharging

the battery, only use the detachable supply unit CH2453M provided with the Appliance.

To satisfy RF exposure requirements, a separation distance of 20 cm or more should be maintained between this device and persons during device operation.

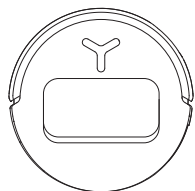
To ensure compliance, operations at closer than this distance is not recommended. The antenna used for this transmitter must not be co-located in conjunction with any other antenna or transmitter.

Device Update

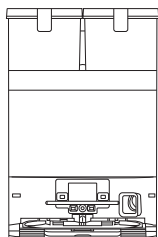
Typically, some devices are updated bi-monthly, but not always so specific. Some devices, especially those that went on sale more than three years ago, will only be updated if a critical vulnerability is found and fixed.

PACKAGE COMPONENTS

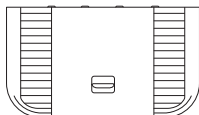
1 Package Contents



DEEBOT



OMNI Station (with built-in dust bag)



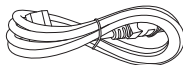
Base



Side Brush



Instruction Manual

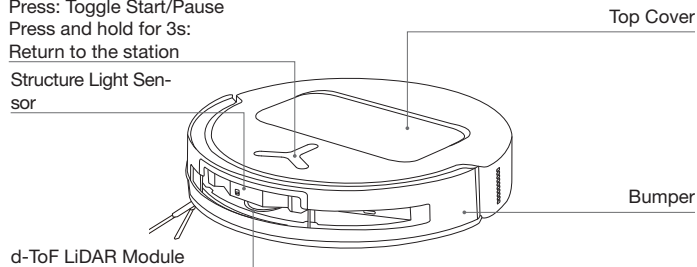


Power Cord x 2

2 Components

1. DEEBOT Front View

Buttons on DEEBOT
Press: Toggle Start/Pause
Press and hold for 3s:
Return to the station
Structure Light Sensor



2. DEEBOT Bottom View

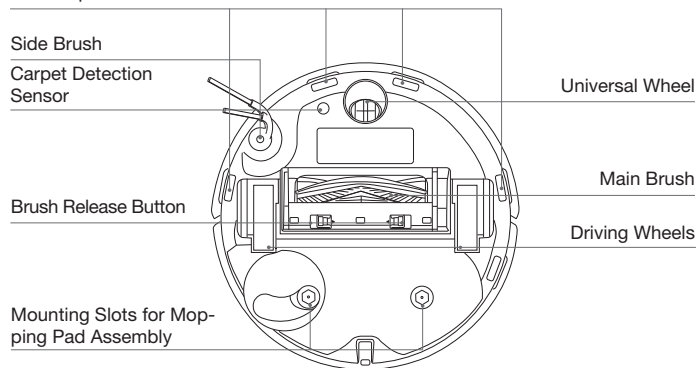
Anti-drop Sensors

Side Brush

Carpet Detection Sensor

Brush Release Button

Mounting Slots for Mopping Pad Assembly



3. Inside DEEBOT (under the top cover)

RESET Button

Network Setup: Press the Reset button once; a voice prompt will guide you through network setup process.

Factory Reset: Press and hold the Reset button for 5 seconds. After hearing the voice prompt, the startup music will play, and DEEBOT will be restored to factory settings. Please use with caution.

Wi-Fi Status Indicator/RE-SET Button

Charging Contacts

Water Filling Port

4. Mopping Pad Assembly

Mopping Pad Plates

Washable Mopping Pads

5. Dust Bin

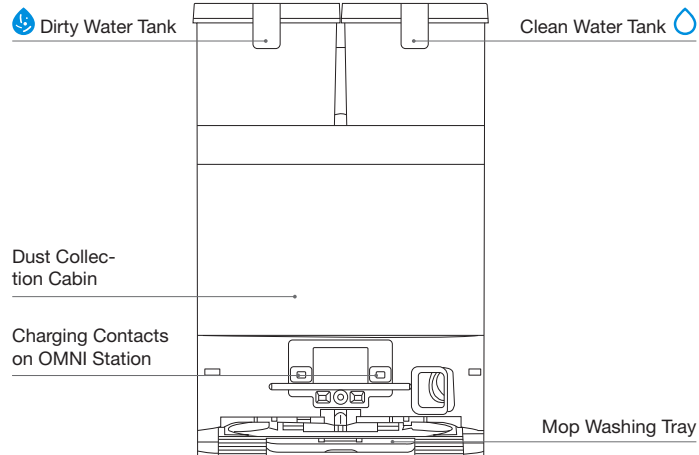
Filter

Primary Filter

Dust Disposal Port

Dust Bin Latch

6. OMNI Station Front View

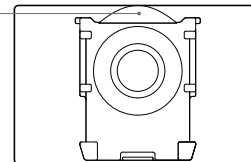


Note:

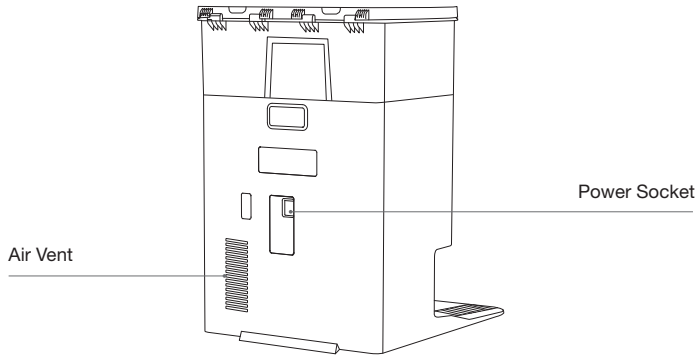
- If DEEBOT fails to charge, please wipe the charging contacts with a clean and dry cloth.

7. Dust Bag

Dust Bag Handle



8. OMNI Station Back View



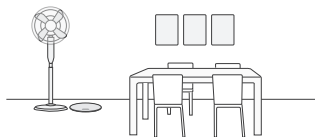
9. Sensor Overview

Component	Functional Description
d-ToF LiDAR Module	DEEBOT uses lasers to calculate the distance to surrounding objects by measuring the time-of-flight necessary for the emitted laser light to be reflected back to the sensors. As DEEBOT navigates within a given environment, it locates the positions of surrounding obstacles and constructs a map of the spatial environment it operates in. The detection range is 10m.
Structure Light Sensor	The sensor emits infrared rays and receives the light reflected back from obstacles in its path. It then calculates the distance to the obstacle using similar triangles. When the sensor detects a nearby obstacle, DEEBOT automatically turns to navigate around it. The detection range is 0.4m.

Anti-drop Sensors	An infrared sensor mounted on the bottom of DEEBOT monitors the distance between the robot's base and the ground. When a downward step is detected ahead (e.g., >55 mm on white surfaces, >30 mm on black surfaces) and the sensor reading exceeds a preset threshold, DEEBOT stops moving forward and enables its anti-drop function.
Carpet Sensor	The sensor emits 300 kHz ultrasonic waves via an ultrasonic probe. Carpet absorbs ultrasonic energy, so if the echoed energy is below a preset threshold, DEEBOT thereby detects the presence of carpet. In ECOVACS laboratory testing, the system can identify more than 50 types of carpets on the market.
Anti-Collision Sensor	With the principle of the Optocoupler Switch, DEEBOT will avoid obstacles before collision.
Edge Sensor	DEEBOT uses linear laser to detect the distance between DEEBOT and objects on its side. When there is a wall or obstacle on the right, DEEBOT performs an edge-following motion to avoid incomplete cleaning and prevent collisions.

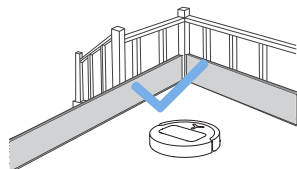
Use

1 Notes before Cleaning



Tidy up the Area to be Cleaned

For the maximum cleaning area possible, put furniture, such as tables, chairs, and pedestal fans, in their proper place and put away low-lying items, such as weight scales, before using DEEBOT.



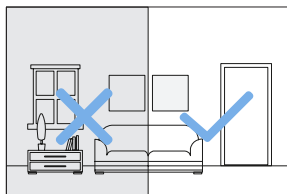
Prevent DEEBOT from Falling

Place a physical barrier at the edge of a drop, such as staircases and steps, to stop the DEEBOT from falling over the edge.



Open Doors and Help DEEBOT Explore

Open all doors to rooms to help DEEBOT fully explore your house and create a map during its first use.



Provide Sufficient Lighting

Ensure all cleaning areas are well-lit to support DEEBOT's AIVI camera in accurately avoiding obstacles such as shoes, socks, and cords.



Remove objects, including cables, clothes, and slippers, from the floor to improve cleaning efficiency.



Before using the product on a carpet with tasseled edges, please fold the tassels under the carpet.



Please do not stand in front of DEEBOT, on thresholds, or in narrow passageways, as this may prevent the robot from identifying the area to be cleaned.



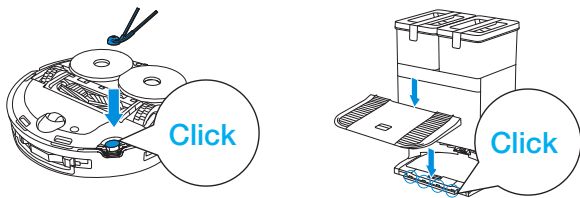
Ensure the clarity of the DEEBOT's vision and avoid scratching or smudging the AIVI camera lens with fingerprints or oily stains. Use a clean, soft cloth to wipe the camera, instead of cleaning agents, detergents, or sprays.

2 Quick Start

Remove all protective materials before using the appliance.

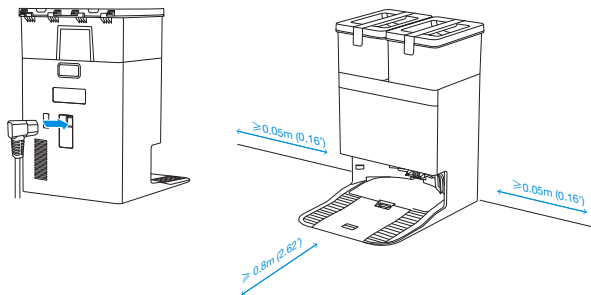
1. DEEBOT and OMNI Station Installation

A "click" sound indicates proper installation.



2. Connect to Power and Place the Station

Place the OMNI Station against a wall on a flat, hard surface. Do not place any objects within 0.05m to the left or right and 0.8m in front.

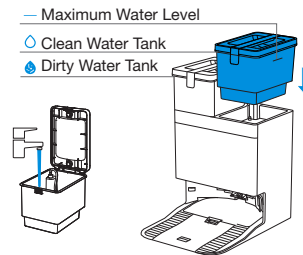


Note:

- If there are reflective objects such as mirrors or reflective skirting lines near the OMNI Station, the bottom 14 cm of such objects should be covered.
- Do not place the OMNI Station in direct sunlight.
- It is recommended to place it in a location with strong Wi-Fi signal for a better user experience.

3 Fill the Clean Water Tank

Take out the clean water tank, open the tank cover, and fill the tank with water up to the maximum water level line. After refilling, close the tank cover and reinstall the clean water tank into the station.



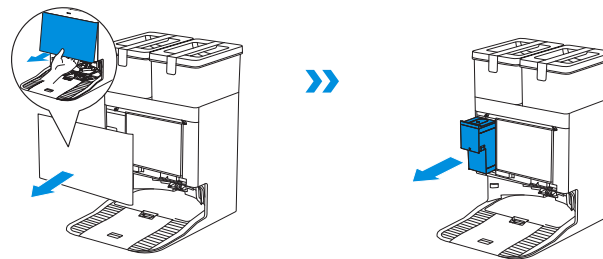
Note:

- Use a clean, dry cloth to wipe off any water on the surface of the tank before placing it in position.
- Before using, ensure that the covers of the clean water tank and dirty water tank are locked to avoid affecting normal operation.
- Any water marks in the water tanks are from function testing. They will not affect performance.

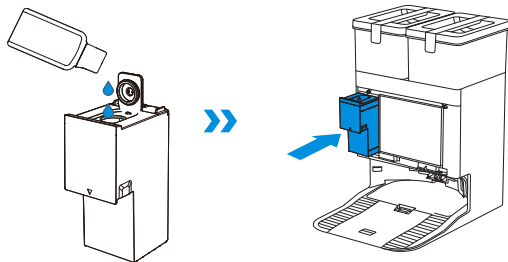
4 Add Cleaning Solution

For Stations with automatic refilling (on select models), please add solution as follows:

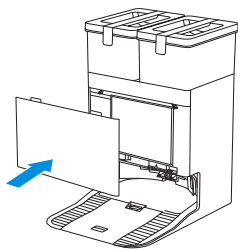
1. Take off the dust collection cover, insert your finger into the tab at the bottom of the cleaning solution box, pull out the box, and place it on a hard, level surface.



2. Open the cleaning solution box lid and add ECOVACS DEEBOT cleaning solution. Close the cleaning solution box lid and install it into the station.



3. Return the dust collection cabin cover and press the cover firmly to secure it in position.



Note:

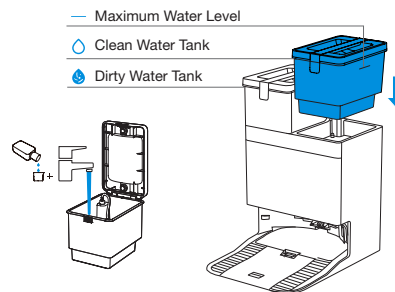
- To extend its lifespan, please use only ECOVACS DEEBOT Cleaning Solution.
- Do not allow foreign objects to fall into the cleaning solution box.

For Stations without automatic refilling, please add solution as follows:

Fill the clean water tank to the maximum water level line, then add an appropriate amount of cleaning solution using the bottle cap at a dilution ratio of 1:200. Close the water tank cover and gently shake to mix before use.

Note:

To extend its lifespan, please use only ECOVACS DEEBOT Cleaning Solution.



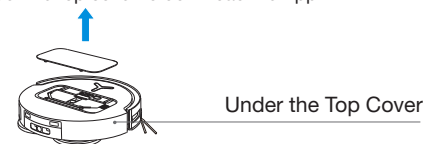
Note:

- Use a clean, dry cloth to wipe off any water on the surface of the tank before placing it in position.
- Before using, ensure that the covers of the clean water tank and dirty water tank are locked to avoid affecting normal operation.
- Any water marks in the water tanks are from function testing. They will not affect performance.
- If the product you purchased features automatic refilling, we recommend adding the cleaning solution using the following steps.

5 Download the ECOVACS HOME App

Download the ECOVACS HOME App to explore more features of DEEBOT:

Option 1: Scan the QR code under the top cover to download the App.



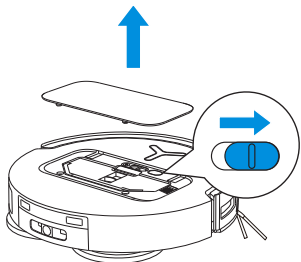
Option 2: Search "ECOVACS HOME" on the App Store or Google Play to download the App.



Note: After installation, follow the on-screen instructions in the mobile app to complete registration, login, and network setup.

6 Power on DEEBOT

Turn on the power switch under DEEBOT's cover ('I' = ON, 'O' = OFF), and place DEEBOT in front of the station that is connected to the power supply.



7 Connect DEEBOT with APP

Wi-Fi Network Requirements:


- You are using a 2.4 GHz or 2.4/5 GHz mixed network.
- Your router supports 802.11b/g/n and IPv4 protocol.
- Do not use a VPN (Virtual Private Network) or Proxy Server.
- Do not use a hidden network.
- WPA and WPA2 using TKIP, PSK, AES/CCMP encryption.
- WEP EAP (Enterprise Authentication Protocol) is not supported.
- Use Wi-Fi channels 1-11 in North America and channels 1-13 outside North America (refer to local regulatory agency).
- If you are using a network extender/repeater, the network name (SSID) and password are the same as that of your primary network.
- Please enable the WPA2 on your router.

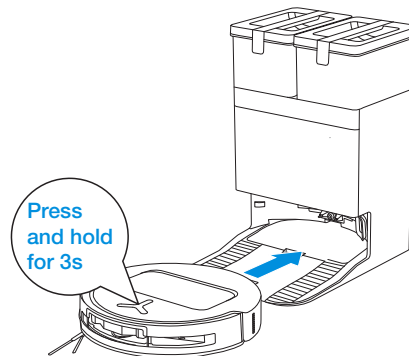
Wi-Fi Indicator

	Slow flashing white light	Wi-Fi Disconnected
	Fast flashing white light	Connecting
	Steady white light	Connected to Wi-Fi

Please be aware that intelligent features such as remote startup, voice interaction, 2D/3D map display and control settings, and personalized cleaning (depending on the Appliance) require the ECOVACS HOME App, which is constantly updated. You need to agree to our Privacy Policy and User Agreement so that we can process some of your essential and necessary information before you can use certain features of the ECOVACS HOME App to control the Appliance. Should you disagree with our Privacy Policy and User Agreement, such features will be unavailable. However, you can still use the basic features of this appliance for manual operation.

8 DEEBOT Charging

Use the ECOVACS HOME app to recall DEEBOT or press and hold the  button on DEEBOT for 3s to allow DEEBOT to the OMNI Station for charging.



Note:

- DEEBOT cannot charge when it is powered off.
- After cleaning, it is recommended to keep DEEBOT powered on and charging to ensure it is ready for the next cleaning session
- To facilitate DEEBOT's smooth return to charging after cleaning, it is recommended that DEEBOT start from the OMNI Station and not move the OMNI Station during cleaning.

9 Starting Cleaning

1. Start Mapping


When creating a map for the first time, please follow DEEBOT to help with some minor issues.

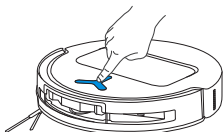
For example, DEEBOT may get stuck under furniture. Please refer to the following solutions:

- ① Raise the low-sitting furniture if possible;
- ② Cover the bottom of the furniture;
- ③ Set up a virtual boundary via the App.

2. Starting Cleaning

- During sweeping and mopping, DEEBOT can recognize the floor type and automatically raise the mopping pads when encountering carpet, without requiring manual disassembly of the mopping pad or the mopping pad plate. Please do not use DEEBOT on shaggy rugs or carpets with fibres longer than 10 mm. It is recommended to fold up the shaggy rugs with fibres longer than 10 mm during the cleaning process, or set the shaggy carpeted area as a no-entry zone by setting a virtual boundary in the ECOVACS HOME App.

Please ensure that DEEBOT is in the station and is fully charged before cleaning for the first time. Press  on DEEBOT to start. You can also use the ECOVACS HOME App to start.




Note:

- To extend the lifespan of the washable mopping pad, do not remove it frequently.
- Do not scratch the mopping pad plates with a rag or other objects.
- Replace the mopping pads in time as prompted by the ECOVACS HOME App.


Explore more accessories in the

ECOVACS HOME App or at <https://mall.ecovacs.com>.


3. Pause

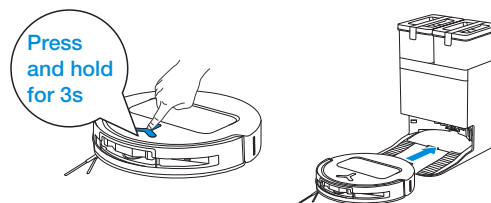
Press  on DEEBOT to pause it while it is working. You can also use the ECOVACS HOME App to pause DEEBOT.

4. Wake Up

After pausing for a while, all indicator lights on DEEBOT will go out. To wake up DEEBOT, press .

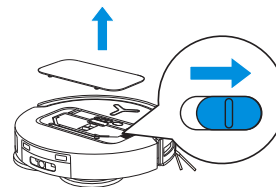
5. Back to Station

Use the ECOVACS HOME APP to recall DEEBOT, or press and hold the  button on DEEBOT for 3 s, to allow DEEBOT to dock for charging.



6. Deep Sleep Mode

DEEBOT will enter deep sleep mode if it stays outside the station for about 10h to protect the battery. Please switch OFF and ON to wake DEEBOT up.



Regular Maintenance

1 Maintenance Frequency

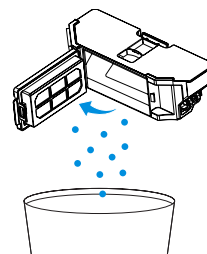
To keep DEEBOT running at peak performance, perform maintenance and replace parts at the following frequencies:

Part	Maintenance Frequency	Replacement Frequency
Washable Mopping Pad	/	Every 1-2 months
Dust Bag	/	When App prompts
Side Brush	Every 2 weeks	Every 3-6 months
Main Brush	Every 1 week	Every 6-12 months
Filter	Every 1 week	Every 3-6 months
Structure Light Sensor Universal Wheel Anti-drop Sensors Bumper Charging Contacts on DEEBOT Charging Contacts on OMNI Station d-ToF LiDAR Module AIVI Camera	Every 1 month	/
Clean Water Tank	Every 3 months	/
Dirty Water Tank	Every 1 month	/
Dust Collection Cabin	Every 1 month	/
Body and Bottom of the Station	Every 1 month	/

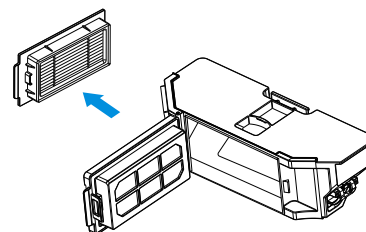
Note: Explore more accessories at the ECOVACS HOME App or at <https://mall.ecovacs.com>.

2 Dust bin

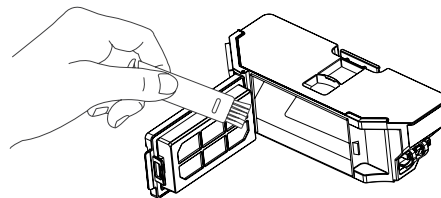
1. Open the dust bin cover and empty the dust box.



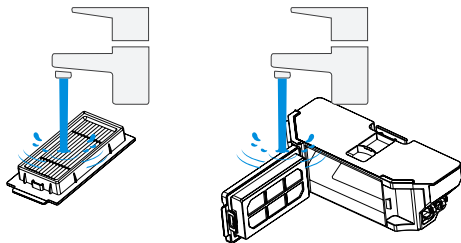
2. Open the filter net and remove the filter.



3. Clean the dust from both sides of the filter net.



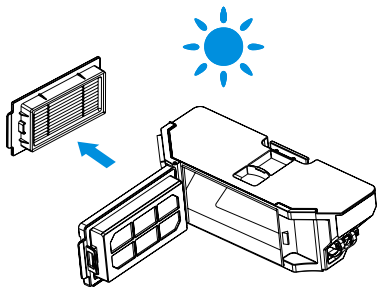
4. Rinse the dust bin and filter with water and shake off the water droplets.



Note:

- Rinse with clean water as shown in the figure.
- Do not brush or scrub the filter element by hand.

5. Air Dry

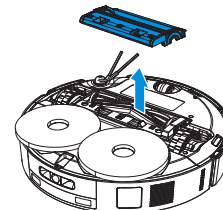


Note: Please ensure the filter element is completely dry before use. We recommend purchasing ECOVACS DEEBOT filter replacement and cleaning tools from the ECOVACS HOME App or at <https://mall.ecovacs.com>

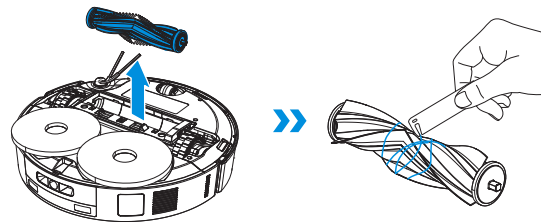
3 Main Brush and Side Brush

Clean the Main Brush

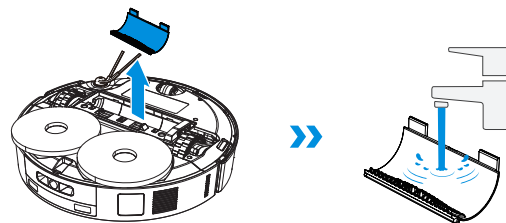
1. Open the main brush cover.



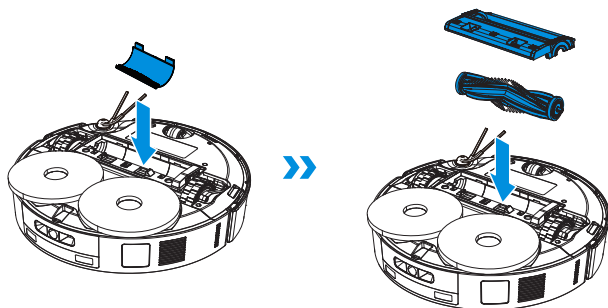
2. Take out and clean the main brush.



3. Take out and clean the comb teeth.

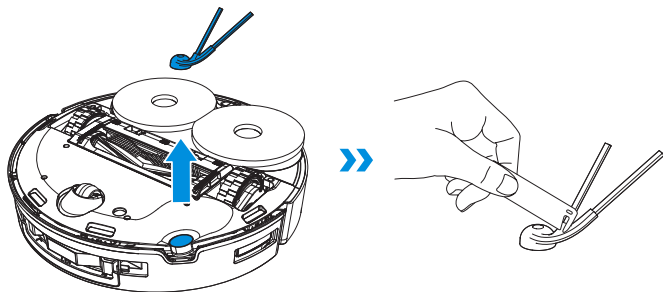


4. Install Comb Teeth, Main Brush and Main Brush Cover



Clean the Side Brush

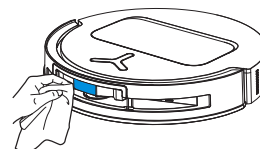
1. Remove and clean the side brush.



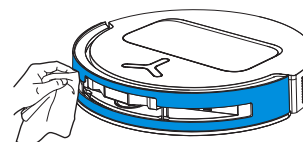
Note: Explore more accessories at the ECOVACS HOME App or at <https://mall.ecovacs.com>.

4 Other Components

Clean the Sensor Lens

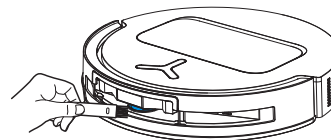


Clean the Bumper



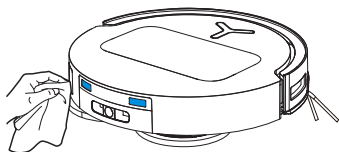
Note: Please use a dry cloth when cleaning the sensor lens and bumper. Do not use a wet cloth to prevent water damage.

Clean the d-ToF LiDAR Module



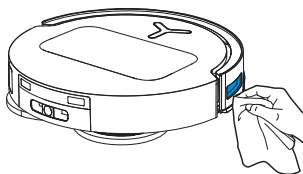
Note: When cleaning the LiDAR module, turn the radar glass lens to the front and gently wipe it with a small brush.

Clean the Charging Contacts

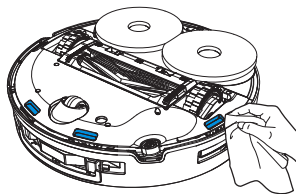


Note: The charging contacts contain sensitive electronic components. Please use a dry cloth when cleaning; do not use a wet cloth to prevent damage from water ingress.

Clean the Edge Sensor

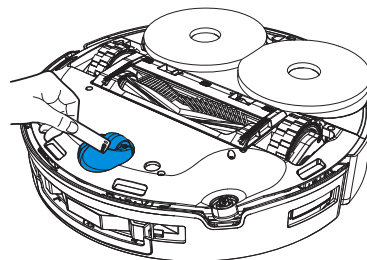


Clean the Anti-drop Sensors

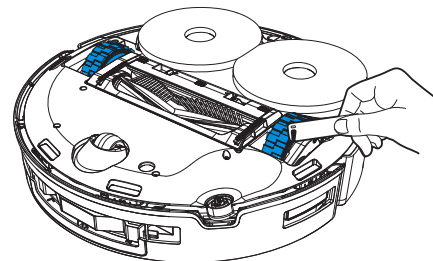


Note: Please use a dry cloth when cleaning the sensor lens and bumper. Do not use a wet cloth to prevent water damage.

Clean the Universal Wheel

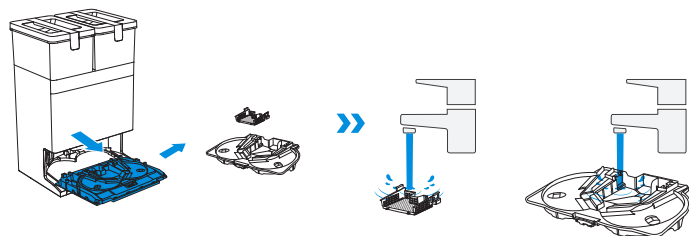
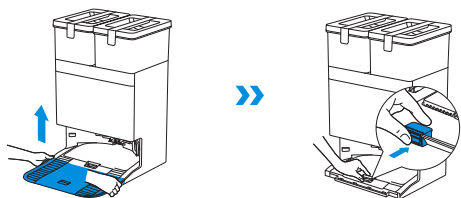


Clean the Driving Wheels

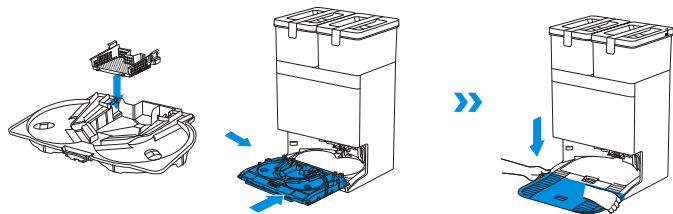


5 Mop Washing Tray

1. Take out and clean the mop washing tray and station slope base.



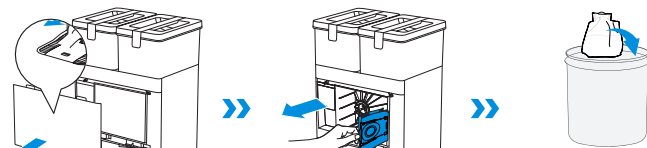
2. Install the mop washing tray and station slope base.



Note: Please ensure correct installation to avoid affecting normal operation.

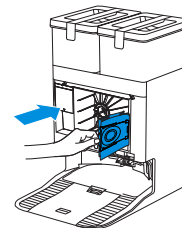
6 Dust Bag

1. Discard the dust bag

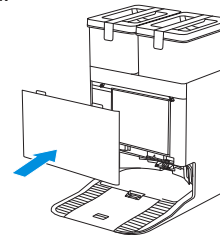


When removed, the dust bag handle seals the dust bag, effectively stopping dust from leaking out.

2. Wipe the dust collection bin with a dry cloth, then install a new dust bag.

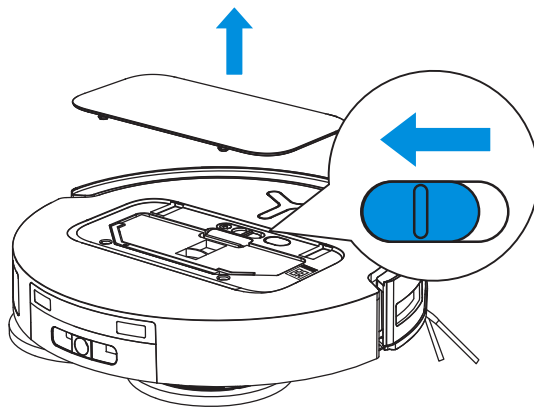


3. Return the dust collection cabin cover and press the cover firmly to secure it in position.



7 Power Off and Storage

If DEEBOT will not be used for an extended period, please fully charge it and power it off before storage. Recharge it every 1.5 months to prevent battery over-discharging.




! Please note that DEEBOT cannot charge when it is powered off.

- After cleaning, it is recommended to keep DEEBOT powered on and charging to ensure it is ready for the next cleaning session
- If the battery is over-discharged or not used for a long time, DEEBOT may not be able to be charged. Please contact Customer Care for help. Do not disassemble it by yourself.
- If you do not use the product for a long time, keep the water tanks empty, and the roller mop dry.

TROUBLESHOOTING

If you encounter the following during appliance use, please refer to the table below for solutions.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
1	DEEBOT is not able to connect to the ECOVACS HOME App.	Incorrect Wi-Fi username or password entered.	Enter the correct Wi-Fi username and password.
		DEEBOT is not within range of your home Wi-Fi signal.	Make sure DEEBOT is within range of your home Wi-Fi signal. Try to stay as close to the router as possible.
		DEEBOT is not in the configuration state.	Press the reset button to enter network setup mode. If it fails, please reconnect as guided by the ECOVACS HOME App.
		There is no home Wi-Fi on the Wi-Fi list.	1. Check if the Wi-Fi name contains special characters. Please do not use special characters like !@#& ¥%^. 2. Check the Wi-Fi selection and do not use a 5 Ghz network.
		An incorrect app is installed.	Please scan the QR code on DEEBOT or download the ECOVACS HOME app from your app store.
2	Map lost.	Moving DEEBOT when cleaning might cause the map to be lost.	Move DEEBOT back to the station to restore the map. In the ECOVACS HOME app, find the stored map in Map Management and tap "Use This Map" to restore it. If this problem persists, please restart mapping.
3	Unable to create a home map in the app.	Moving DEEBOT during cleaning disrupts its positioning and causes localization failure.	During cleaning, do not move DEEBOT.
		Auto Cleaning does not finish.	Make sure DEEBOT automatically returns to the OMNI Station after cleaning.
4	The side brush fell off.	The side brush is not properly installed.	For proper installation, make sure you hear a "click" when installing the side brush

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
5	No signal found. DEEBOT cannot return to the OMNI Station.	The OMNI Station is not properly placed.	Place the OMNI Station properly according to the instructions in the [DEEBOT Charging] section.
		The OMNI Station is out of power or moved.	Check whether the OMNI Station is connected to the power supply. Do not move the OMNI Station.
		DEEBOT did not start cleaning from the OMNI Station.	It is recommended that DEEBOT start cleaning from the OMNI Station.
		The return-to-charge route is blocked. For example, the door to the room where the OMNI Station is located is closed.	Keep the return-to-charge route clear.
6	DEEBOT returns to the station before finishing cleaning.	The room is too large and DEEBOT needs to return to the station to recharge.	Please enable Auto Resume. For more details, please follow the instructions in the app.
		In highly complex home layouts, DEEBOT's cleaning efficiency may drop and some areas may not be cleaned.	Tidy up the area to be cleaned.
7	DEEBOT is unable to charge.	DEEBOT is not switched ON.	DEEBOT's power switch needs to be turned on to the "I" position to charge.
		The charging contacts of DEEBOT and the OMNI Station are not making full contact.	Ensure that DEEBOT is fully seated on the charging contacts on the OMNI Station. The indicator on the  button should be flashing. Check if the charging contacts of DEEBOT and the OMNI Station are dirty, and clean them according to the instructions in the [Regular Maintenance] section if necessary.
		The OMNI Station is not connected to the power supply.	Make sure the OMNI station is plugged in to an electrical outlet.
		The Station Slope Base is not properly installed.	Follow the instructions in the [Quick Start] section for proper installation.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
8	There are loud noises from DEEBOT during cleaning.	The main brush/side brush is tangled up, or the dust bin/filter is blocked.	It is recommended to clean the main brush, side brush, dust bin, filter, etc. regularly.
		DEEBOT is in Max mode.	Switch to Standard mode.
9	DEEBOT gets stuck while working and stops.	DEEBOT has ingested something on the floor (electrical wires, curtains, carpet fringing, etc.).	DEEBOT will try various ways to free itself. If it is unsuccessful, manually remove them manually.
		DEEBOT might be stuck under furniture if the clearance is about the same height as itself.	Please set a physical barrier or set a virtual boundary via the ECOVACS HOME app.
		DEEBOT is stuck in a narrow area.	It is recommended to tidy up your home beforehand, manually block narrow entrances, or set virtual boundaries via the ECOVACS HOME app.
10	DEEBOT traces a random route, goes off route, repeats passes over the same spots, or misses small areas. (If DEEBOT temporarily misses a large area, it will automatically return to make sure it is thoroughly cleaned, so don't worry. Sometimes DEEBOT may re-enter already cleaned rooms; this may not be a repeated cleaning, but simply an automatic spot-filling operation.)	Objects such as wires and slippers on the ground affect DEEBOT's normal operation.	Before cleaning, please tidy up wires, slippers, and other objects on the ground as much as possible. If there are any missed areas during cleaning, DEEBOT will return to ensure they are thoroughly cleaned. Please do not intervene (such as moving DEEBOT or blocking its route).
		The driving wheels may slip on the ground when DEEBOT climbs steps, thresholds, and door bars, affecting its ability to navigate the entire house environment.	It is recommended to close the door of the affected area and clean the area separately. After cleaning, DEEBOT will return to its starting location. Do not worry about this.
		On freshly waxed or polished floors, as well as smooth tiles, there may be less friction between the driving wheels and the floor.	Please wait for the wax to dry before cleaning.
		Due to variations in home environments, some areas cannot be cleaned.	It is recommended to tidy up your home beforehand to ensure DEEBOT can enter and clean.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
11	Remote control is delayed.	Poor Wi-Fi signal on DEEBOT causes slow video loading.	It is recommended to use DEEBOT in an area with a good Wi-Fi signal.
12	DEEBOT does not empty the dust bin after returning to the OMNI Station.	The Auto-Empty function has not been turned on in the ECOVACS HOME app.	Turn on the auto-empty function in the ECOVACS HOME app.
		The dust bag is not installed in the OMNI Station.	Install the dust bag, and close the dust collection bin.
		Manually moving DEEBOT back to the station did not trigger the auto-empty feature.	It is recommended to let DEEBOT return to the station on its own for auto emptying and charging after cleaning. Please do not move it manually.
		In Do Not Disturb mode, DEEBOT will not empty the dust bin after returning to the station.	Cancel Do Not Disturb mode in the ECOVACS HOME app or manually start dust emptying.
		If you've ruled out the above possible causes, the problem may stem from a faulty component in the OMNI Station.	Please contact our after-sales service.
13	Auto-Empty failed.	The OMNI station detects a decrease in emptying efficiency.	Replace the dust bag according to the [Regular Maintenance] section and close the dust collection bin. If the dust bag is not full when the app prompts the issue, remove the dust bag and reinstall it.
		The dust disposal port is blocked by foreign objects.	Take out the dust bin and remove foreign objects from the dust disposal port.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
14	The inner side of the dust collection bin is dirty.	Fine particles collect on the inner side of the dust collection bin through the dust bag.	Clean the inner side of the dust collection bin.
		The dust bag is broken.	Check and replace the dust bag if necessary.
15	Dust leaks out when DEEBOT is operating.	The dust disposal port is blocked by foreign objects.	Take out the dust bin and remove foreign objects from the dust disposal port.
16	The mopping pad plates do not rotate.	The mopping pad plates are not properly installed.	Install the mopping pad plates properly. Press the mopping pad assembly into the mounting slots until you hear a "click".
		The mopping pad plates are stuck due to a foreign object.	Remove the object.
17	DEEBOT is not responding to commands from the OMNI Station.	DEEBOT is not inside the station.	Please ensure DEEBOT is inside the station.
18	The driving wheel is stuck.	The driving wheel is entangled or stuck due to foreign objects.	Please rotate and press the driving wheels to check for and remove any foreign objects that are entangled or jammed. If this problem persists, please contact after-sales service for help.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
19	The water in the mop washing tray is full and cannot be drained. A voice prompts that the mop washing tray is full.	The dirty water tank is not properly installed.	Tap down on the dirty water tank to ensure it is properly installed.
		The sealing plugs in the dirty water tank are not installed properly.	Make sure that the two sealing plugs are properly installed.
		The OMNI Station cannot drain water normally.	Follow the instructions for draining in the app to see whether the station can drain water normally. If the draining still fails, check for and remove any foreign objects between the dirty water tank and the station.
		The suction port of the mop washing tray is blocked.	Ensure that there is no foreign object in the suction port of the mop washing tray.
		The removable tray base or scraper plate of the mop washing tray is dirty.	Remove the removable tray base and scraper plate of the mop washing tray and rinse them with clean water.
		If no water flows into the mop washing tray base, check if the floating ball is stuck and cannot fall back.	Remove the mop washing tray and put the floating ball in its original position.
		If the voice alert persists.	Power off and on the station. If this problem persists, please contact after-sales service for help.

If this problem persists, please contact after-sales service for help.

Technical Specifications

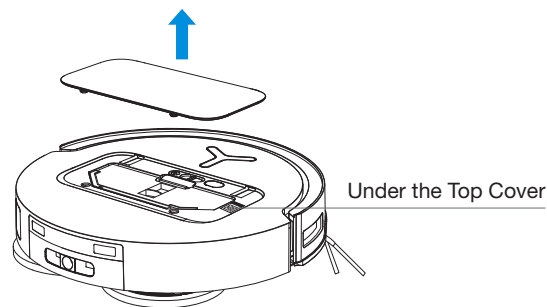
Product Model	DDX47
Rated Input	20V === 2A
Charging Time	Approximately 4.0 hours
Station Model with Auto Mop Washing and Auto-Empty	CH2453M
Rated Input	100V~ 50-60Hz
Rated Output	20V === 2A
Rated Input Current (Charging)	1A
Power (Emptying)	4.5A
Power (Hot Water Mop Washing)	10A
Power(Dry)	1.2A
DEEBOT Dimensions (Width x Depth x Height)	352.7*351.6*81mm
Station Dimensions (Width x Depth x Height)	350*477*533mm w/ Station Slope Base; 350*294*533mm w/o Station Slope Base

*The approval code is printed on the product nameplate.

* Due to continuous product enhancements, the actual appliance may differ from the information provided herein; we reserve the right to change specifications without notice.

Get the full Instruction Manual

Please use the mobile camera to scan the QR code and obtain the user guide.



Ecovacs Home Service Robotics Co., Ltd.
No.518 Songwei Road, Wusongjiang Industry Park, Guoxiang Street, Wu-
zhong District, Suzhou, Jiangsu, China.

451-2425-0151